



かぜくも

いわき支援学校

地域支援センター通信 No. 16

R元. 7. 10発行

～地域における、特別支援教育の核として～ 地域へつなぐ、チームでつなぐ

日頃より、当センターにご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年度、県の新規事業「切れ目のない支援体制整備事業」により、県内全ての県立特別支援学校に「地域支援センター」が設置され、また同時に本校15校に「教育支援アドバイザー」が配置されました。

いわき支援学校では、平成26年度に「地域支援センターかぜくも」を立ち上げ今年度で6年目を迎えます。この間、当センターでは相談を始め、いわき市内の幼稚園、小中学校、高等学校等への出かける支援や研修支援（ミニセミナー）、さらには就学前のお子さんの保護者さんを対象とした早期教育相談（かぜくもひろば）や勉強会（かぜくも教室）などを実施し、地域内の特別支援教育の核としてその機能を果たす役割に努めてきました。

さらに今年度は、いわき教育事務所やいわき市教育委員会との連携を密に、本校における「地域支援センター」の持ち味を発揮し、必要に応じて「教育支援アドバイザー」を活用するなど、地域の小中学校や高等学校等のニーズに応じたよりきめ細かな支援を進めていきたいと考えております。

本校教職員のもつ専門性が発揮できる組織・チームをつくり、特別支援教育の経験豊富なスタッフを準備しておりますので、お子様に関することでお困りのことなどがございましたら、どうぞお気軽に当センターまでご連絡をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

いわき支援学校長 佐藤 清悦

就学前のお子さんの遊びの場 かぜくもひろば

6月18日火曜日に第1回「かぜくもひろば」が開催されました。今回は就学前のお子さん8名とその保護者の方々が本校に集まりました。はじめは初めての場やお友達に緊張しながらも、滑り台やトンネルのある広場で一緒に遊ぶことができました。

お集まりでは、歌に合わせて、名前を呼ばれたお子さんにタンブリンを鳴らして返事をしてもらいました。パネルシアター「ねこのおいしゃさん」では、登場してくる動物に注目したり「にゃーっ！」と声を出したりとそれぞれ楽しんでいました。「ふわふわふくらあそび」では、たくさんのお袋を舞い上げたり寝転んだりして感触を楽しんでいました。保護者の皆さんからは「普段見ることのできない姿をたくさん見ることができた。」「場に慣れてからは楽しそうに遊んでいて、ほっとした。」等の感想を頂きました。



就学前の保護者さんの 学校見学会

5月22日（水）に、来年度就学を迎える年長さんの保護者及び関係機関の方々を対象とした学校見学会を実施しました。全体会では、はじめに本校教頭よりいわき支援学校の概要説明を行い、その後担当者より「地域支援センターかぜくも」についての説明を行いました。

全体会後は、二つの班に分かれて授業を見学しました。小学部では「生活単元学習」「算数」「体育」「音楽」の授業、中・高等部では「作業学習」を見学しました。

お忙しい中、ご参加いただきありがとうございました。



「子どもたちとのかかわりで大切にしたいこと」

副校長 五十嵐登美

子どもたちとのかかわりの中で、行動の理解に悩んだときは、その子の行動を「どのようにみるか、どのように捉えるか」が大切になると考えます。例えば、「友達をたたくなど乱暴な行動をする」ことが心配される場合、その要因として「見通しが持てないことや状況が把握できずに混乱している」「言葉の理解や情報処理が十分にできていない」「失敗経験が重なって不安が強い」「突然の予定や環境の変更に強い不安がある」「自分の気持ちを表現する方法がわからない」など、一人一人その要因が違うことが考えられます。子どもたちの特性等による困難さや生活のしにくさに配慮するとともに、子どもたちが今見せている行動にはどのような背景や要因があるかといったことを考えると、子どもたちの行動がそれまでと違ってみえてくるかもしれません。そういった視点を持つことがかかわりの糸口になりますし、私たちの専門性のひとつだと考えます。

また、その子が実現したかったことは何か、今どのような思いでいるか等、子どもたちの思いに心を寄せ、向き合っていくことも大切だと思います。そのことが、私たちのかかわり方や環境設定を見直すきっかけにもなると思います。

以前、あるお母さんが「子どもが小さいときは、悩んでばかりで子どもを理解するってどういうことかわからなかったけれど、今、学校の先生方といろいろ話せる関係になって、子どもの姿も少しずつ見えるようになって、今がその途中なんだなって思えるようになりました。」と話してくれたことがあります。悩みながら子育てをしている保護者の方にとって、ともに子どもたちのことを考え、かかわってくれる人がいてくれることが励みになると思います。私たち教師は、そういう存在でありたいものですね。



幼・保・小・中・高校の先生方

< いわき地区特別支援教育研究会教育セミナーⅠのご案内 >

いわき支援学校を会場に7月25日(木)に「いわき地区特別支援教育研究会教育セミナーⅠ」が開催されます。午前中は実技講習会が行われ、9つある講習会の内、本校の地域支援センターの教育支援アドバイザー、鈴木貞安先生による「発達検査の結果を指導に活用しよう」の講習会もあります。午後は東京都立矢口特別支援学校主任教諭の川上康則氏をお招きして、「発達につまずきがある子どもたちが輝く授業づくり」の内容で講演会が行われます。ご参加をお待ちしています！ ※詳しくは本校HPをご覧ください。

< ミニセミナーのご案内 >

小・中・高等学校等の先生方への研修支援として、下記の日程で本校を会場に、ミニセミナーを行います。時間は16:00～16:45です。特別支援教育に関心のある方の参加をお待ちしています。

| | |
|---------------------------|------------------------|
| 7月22日(月)「LD/ADHDについて知ろう」 | 講師：本校小学部教諭 |
| 9月12日(木)「今からできる就労支援」 | 講師：いわき障がい者相談支援センター 白土様 |
| 10月31日(木)「ことばを育てる」 | 講師：本校小学部教諭 |
| 11月27日(水)「いわき市の福祉サービスと課題」 | 講師：いわき障がい者相談支援センター 川崎様 |